

# インドネシアにおける投資 政策とインセンティブ、持 続可能な投資

インドネシア投資フォーラム2023年  
戦略的優先プロジェクト・市場コンサルティング

2023年12月4日、東京

**Nurul Ichwan**

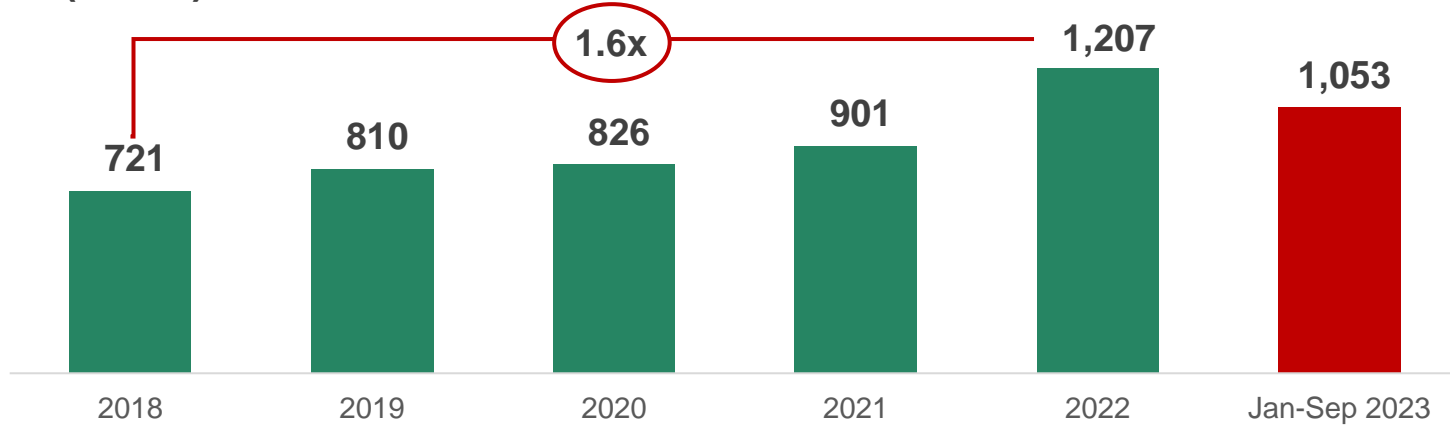
インドネシア投資副大臣、インドネシア投資調整  
庁（BKPM）副長官



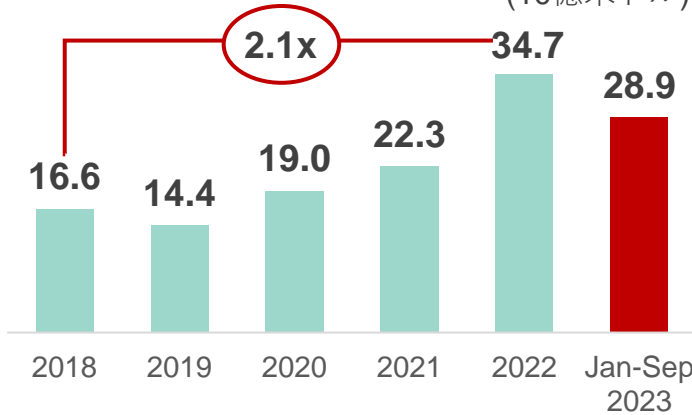
# インドネシアは継続的に世界トップのFDI先の一つ、今後も成長する傾向に

製造業の設備投資が2018年から2022年の4年間で倍増

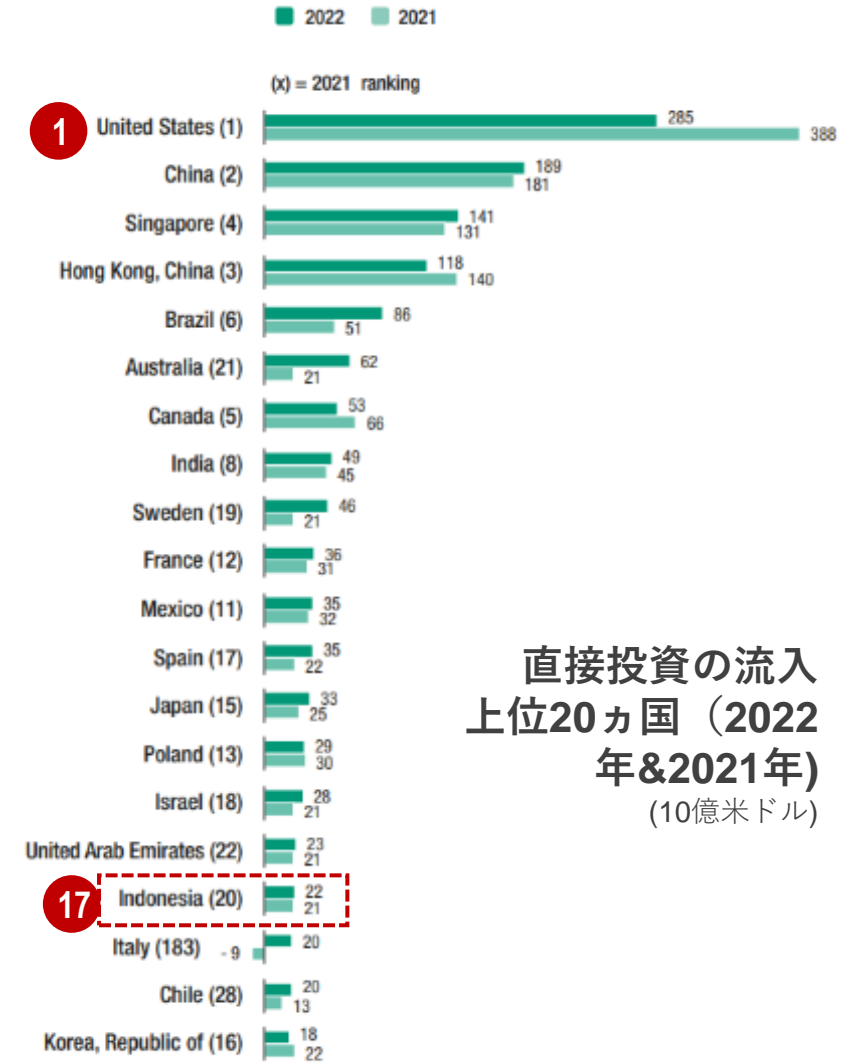
直接投資実現額 2018年～2023年9月  
(兆IDR)



製造業における直接投資実現額  
(2018年～2023年9月)  
(10億米ドル)



No.	製造業のトップ5事業分野	投資額 (10億米ドル)
1.	金属・非機械工業	33.5
2.	食品産業	21.4
3.	化学・製薬産業	17.9
4.	製紙・印刷産業	6.5
5.	自動車・その他運輸業	6.4



直接投資の流入  
上位20カ国 (2022年&2021年)  
(10億米ドル)

Source: UNCTAD, FDI/MNE database (<https://unctad.org/fdi/statistics>).

# 金属素材産業の設備投資は3年間で約3倍に増加 (2019-2022)

直接投資総額に占める割合は、2019年の7.6%から2022年には14.2%に急増

2019				2020				2021				2022				Jan-Sep 2023			
No	分野	IDR (兆)	%	No	分野	IDR (兆)	%	No	分野	IDR (兆)	%	No	分野	IDR (兆)	%	No	分野	IDR (兆)	%
1.	物流 & 通信	139,0	17,2	1.	物流 & 通信	144,8	17,5	1.	金属素材産業	117,5	13,0	1.	金属素材産業	171,2	14,2	1.	金属素材産業	146,0	13,9
2.	インフラ (電気、ガス、水道)	126,0	15,6	2.	インフラ (電気、ガス、水道)	102,0	12,3	2.	住宅、工業団地、オフィス	117,4	13,0	2.	鉱業	136,4	11,3	2.	物流 & 通信	120,0	11,4
3.	住宅、工業団地、オフィス	71,1	8,8	3.	金属素材産業	94,8	11,5	3.	物流 & 通信	107,4	11,9	3.	物流 & 通信	134,3	11,1	3.	鉱業	113,3	10,8
4.	金属素材産業	61,6	7,6	4.	住宅、工業団地、オフィス	76,4	9,2	4.	インフラ (電気、ガス、水道)	81,6	9,1	4.	住宅、工業団地、オフィス	109,4	9,1	4.	住宅、工業団地、オフィス	83,7	7,9
5.	鉱業	59,5	7,4	5.	建設	71,0	8,6	5.	鉱業	81,2	9,0	5.	化学&製薬	93,6	7,8	5.	化学&製薬	76,8	7,3

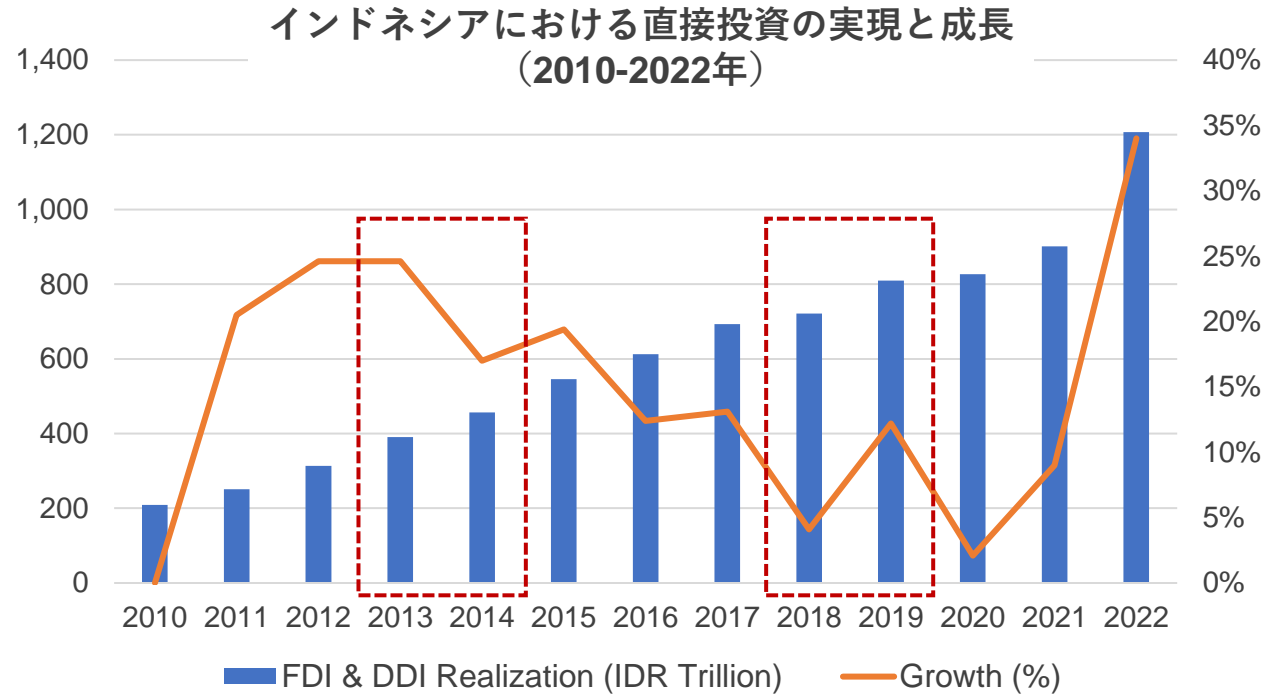
# FDIは多様化し、アジアが主要な供給源に

日本は、インドネシアの直接投資の主要な供給源のトップ5に一貫しています。

(10億米ドル)

2019				2020				2021				2022				Jan-Sep 2023			
No.	Country	Investment		No.	Country	Investment		No.	Country	Investment		No.	Country	Investment		No.	Country	Investment	
1	Singapore	6.5		Singapore	9.8			Singapore	9.4			Singapore	13.3			Singapore	12.1		
2	China	4.7		China	4.8			Hong Kong	4.6			China	8.2			China	5.6		
3	Japan	4.3		Hong Kong	3.5			China	3.2			Hong Kong	5.5			Hong Kong	5.2		
4	Hong Kong	2.9		Japan	2.6			United States	2.5			Japan	3.6			Japan	3.3		
5	Netherlands	2.6		South Korea	1.8			Japan	2.3			Malaysia	3.3			United States	2.4		
6	Malaysia	1.4		Netherlands	1.4			Netherlands	1.8			United States	3.0			Malaysia	2.4		
7	South Korea	1.0		Malaysia	1.0			South Korea	1.6			South Korea	2.3			South Korea	1.98		
8	United States	0.98		United States	0.74			Malaysia	1.4			Netherlands	1.2			Netherlands	0.86		
9	British Virgin Islands	0.74		Taiwan	0.55			Bermuda	0.67			Bermuda	0.96			British Virgin Islands	0.53		
10	Australia	0.34		Australia	0.34			Switzerland	0.59			United Kingdom	0.62			Australia	0.43		

2023年から24年にかけての政治情勢は、インドネシアにおける投資家の動き方に影響を与える可能性  
 しかし、2013/14年と2018/19年の直近の選挙年は投資が伸び続けていました。



- 民主主義国家として、選挙と国家政策の変更は避けられず、5年周期で行われます。インドネシアは1998年の改革から多くのことを学びました。インドネシアは25年間にわたり、選挙と大統領の交代が良好に進行できることを証明しています。
- **選挙年においても、インドネシアへの投資は影響を受けませんでした。政府は投資環境の安定を確保します。**
- 投資環境は、投資と経済成長の前提条件であるため、インドネシア投資省は、投資しやすい環境を維持するためにいくつかの戦略を実施します：
  - 法的確実性と投資政策の維持を確保
  - 投資環境を継続的に改善
  - 投資戦略を改善し、雇用と経済成長を生み出す投資を増加
  - エンド・ツー・エンドの投資サービスを提供し、投資実現の加速化を促進

# インドネシア2045年ビジョン：健全な所得分配を有する先進国を目指す

首都移転とグリーン経済は経済変革戦略の一環

インドネシア2045ビジョン  
“ゴールデンのインドネシア2045の実現”

指標	2020	2045
一人当たりGDP	\$ 3,911	\$ 28,934
GDPランキング	16	4
経済成長	2.07%	6.4%
地域格差（西部と東部）	30%	26%
ジニ比	0.40	0.36
研究予算	0.3%	1.5-2.0%
高等教育の進学率	30.9%	60%
平均寿命	71.3 year	72.8 year

## インドネシアの経済変革の6つの主要戦略



グリーン・低炭素経済は、ジョコ・ウィドド大統領が中期的な経済変革を実現するための主要な戦略のひとつであり、低炭素開発の枠組みを通じて実現されます。

# インドネシアは天然資源の付加価値を高める下流産業に注力

## 投資優先分野

 労働集約型産業	 輸出志向型産業	 再生可能なエネルギー
 インフラ	 デジタル経済	 天然資源の付加価値産業

## 下流産業への投資



投資省/BKPMは、優先産業、投資機会、経済的影響、戦略的政策を含む下流産業のロードマップを作成しました。

## ポテンシャルなコモディティ



# 世界的な課題と貿易措置の変化にもかかわらず、進歩は軌道に乗っている インドネシアはバッテリーのサプライチェーン全体への投資の促進と発展を継続



ニッケル鉱石

錫と硫酸コバルト

化学成分とバッテリーセル

セル、モジュール、  
バッテリー

EV、電力供給、ESS、インフラ

リサイクル

ニッケル鉱石



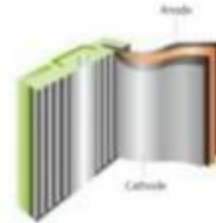
上流陰極



バッテリー前駆体



陰極



バッテリーの製造

バッテリーセル  
& パック



ESS SPKLU



EV, ESS (エネルギー貯蔵システム),  
充電

電池のリサイクル



バッテリーのリサイクル

ニッケルの世界生産量の20.4%、世界埋蔵量の22%を占める最大の鉱業地

既存の HPAL プラントの MHP/硫酸塩生産能力は約 40 万トン

既存の生産能力:

- E4W: 29,000 ユニット
- E-bus: 2,480 ユニット
- E2W: 1420万ユニット

2021～2023年に160億ドルを超えるHPALプロジェクトが発表されました。

投資計画:

- バタンに24億ドルの工場、前駆体22万トン、正極4.2万トンの生産能力
  - 10GWhのバッテリーセル生産能力を持つカラワンの11億ドルの工場
  - GIICに6,000万ドルのバッテリーパック工場、3.6GWhのバッテリーサービス能力
- 2026年に生産開始予定

すでに稼動している充電ステーション (SPKLU) とバッテリースワブステーション (SPBKLU)

モロワリのバッテリー・リサイクル工場が稼動中



# より競争力・透明性のある投資インセンティブを提供

投資優遇措置はワン・ルーフ・サービスを通じて提供します。

## タックス・ホリデー (PP 12/2020, PMK 130/PMK.010/2020, PerBKPM 7/2020)

**100%** IDR5,000億（～3,350万米ドル）以上の投資に対し、5～20年間、所得税を100%減税し、さらに2年間、法人所得税を50%減税します。パイオニア産業の基準を満たす場合のみ適用されます。

**50%** **ミニ・タックス・ホリデー:** IDR1,000億（約670万米ドル）以上の投資に対してCITが5年間で50%削減されます。CITが2年間さらに25%削減されます。

## 輸入免税



産業およびサービス業の機械、商品、および資材の輸入に対する輸入関税免除

- 2年間の輸入関税免除
- 地元生産の機械を使用する企業（最小30%）に対して4年の期間

(PMK 176/PMK.011/2009 & 188/PMK.010/2015)

## 税額控除 (PP 78/2019, PMK 96/PMK.010/2020, PerMenperin 47/2019)

**30%** 特定の事業分野または特定の地域における、初期固定資産の30%（年5%×6年間）による総所得税額の軽減。

有形固定資産または無形固定資産の減価償却費の繰り上げ。

配当金に対する法人税の10%または適用される租税条約の低い税率。

欠損金の繰越期間を5～10年延長。

## スーパー税額控除 (PP 45/2019)

**200%** 教育活動の費用の最大200%までの所得税対象総収入の軽減

**60%** 労働集約型産業の固定資産への総投資額の60%に対する所得税の純利益軽減

**300%** 研究開発活動の費用の最大300%までの所得税対象総収入の軽減

# 新首都ヌサンタラ（IKN）の開発を支える12件の持続可能な投資プロジェクト

4つの分野をカバーし、総額は約33億8000万米ドル以上

Spatially-Based Project Information

 [regionalinvestment.bkpm.go.id](https://regionalinvestment.bkpm.go.id)

## 市場コンサルティングの目的

1

プロジェクトの潜在的可能性を市場  
や投資家に知らせるため

2

プロジェクトへの市場の意向と関心  
を確かめるため

3

市場／ポテンシャルな投資家からの  
フィードバックを得るため

4

市場コンサルティングの参加者と、  
最新の展開に関するコミュニケー  
ションを維持するため



天然資源

3件

~1億9,180万米ドル  
(IDR 2,88 兆)



製造業

3件

~2,880億米ドル  
(IDR 43,23 兆)



サービス&経済特区

3件

~2億4,414万米ドル  
(IDR 3,66 兆)



インフラ

3件

~1億4,769万米ドル以上  
(IDR 2,22 兆)



# Terima Kasih

## Kementerian Investasi/BKPM

Jalan Jenderal Gatot Subroto No.44,  
Jakarta 12190 – Indonesia

T: +62 21 525 2008

F: +62 21 525 4945

E: [info@bkpm.go.id](mailto:info@bkpm.go.id)

[Bkpm.go.id](http://Bkpm.go.id)

[investindonesia.go.id](http://investindonesia.go.id)

